

平成3年8月22日

## 豊島区民が誇る芸術の祭典

# 『としま区民芸術祭』始まる

9月1日までの開催期間中『区民でつくる第九演奏会』・豊島区こども合唱団参加オペラ『ヘンゼルとグレーテル』・『豊島区管弦楽団演奏会』・『としま薪能』・都内城北地区の民俗芸能の祭典『民俗芸能inとしま』・目白を拠点に活躍する3人の舞踊家（クラシックバレエ・モダンバレエ・日本舞踊）による『舞踊への招待』などビッグイベントが目白押し。

22日、池袋西口の東京芸術劇場をメイン会場に、としま区民芸術祭が始まった。9月1日までの11日間に、22イベントが華々しく展開される。昨年に続いて2回目の開催。

豊島区においては、ここ数年、民間主導による「東京国際演劇祭」（88年から隔年開催）や「池袋演劇祭」（89年から毎年開催・今年は8月23日～9月16日）などが開催され、いずれも大成功を収めている。また、昨年10月末には、池袋西口に区民待望の東京芸術劇場がオープンした。

それを機に、豊島区では、新しい文化環境づくりをめざして、昨年12月に『としま区民芸術祭』を初めて開催し、4万人を超える区民が参加（鑑賞含む）するという盛り上がりを見せた。

この芸術祭は、第九演奏会に代表されるような一般区民の参加はもちろん、区内に在住する優れた芸術家の参加や海外劇団の招へいなど国際都市にふさわしい開かれた芸術の祭典として、区民鑑賞型と区民参加型の2つのテーマで開催されるもの。

初日のこの日は、区内で活躍するプロの芸術家で構成される豊島区美術家協会や豊島区書道会会員による、日本画・洋画・彫刻・書などが「豊島区美術展・書道展」として同劇場5階のギャラリーに展示されたほか、地下展示室では「華道展」も開かれるなど会場は華やかな雰囲気にも包まれていた。美術展は最終日まで、華道展は25日まで開催。両展とも入場無料。

問合せ 企画部文化担当